

## WEB 設定書

# IPS-4226-16GP-240/IPS-4226-24GP-360 16/24 ポート PoE スイッチ (マネージド)

---

---

屋内用



## はじめに

本書では、製品の Web インターフェースでの操作（以降「スイッチ」と呼びます。）  
Web ブラウザでスイッチにアクセスし、スイッチを構成及び管理できます。

## 安全にご使用いただくには

以下の注意喚起が本書に表示されています。

 DANGER	回避しないと死亡や重傷を負う恐れがあります
 WARNING	回避しないと軽傷を負う事や財産の損害が発生する恐れがあります
 CAUTION	回避しないと物的損害、データ損失、パフォーマンス低下、あるいは予測できない結果につながる恐れがあります
 TIPS	問題を解決するヒントがあります。
 NOTE	強調および補足として追加情報を提供します

## 改訂履歴

version Ver.201912	改定内容 初版	リリース時期 2020/02
-----------------------	------------	-------------------

## プライバシー保護

製品使用者は、顔、指紋、車のナンバープレート、メールアドレス、電話番号、GPS 等、個人のプライバシーを守るために、地域のプライバシー保護法及び規制に準拠して、んんんんんんんん

## サイバーセキュリティに関する推奨事項

必ず行ってください。

### ①強力なパスワード設定、定期的な変更

必ず 8 文字以上の特殊文字、数字、アルファベットの大文字と小文字を組み合わせてください。

### ②ファームウェアのアップデート

最新のファームウェアを保つことをお勧めします。

### ③HTTPS/SSL を有効にします。

ご使用のデバイスとレコーダ間の通信を全て暗号化します。

### ④必要な HTTP と TCP ポートのみ使用

余計なポート開放はしないでください。

### ⑤

# 本書について

この取扱説明書は参照専用です。本書と製品に矛盾がある場合は、実際の製品を優先するものとします。

弊社は、準拠していない業務により生じたいかなる損失についても責任を負いません。

本書は、関連する最新の法律および規制に従って更新されます。取扱説明書間で矛盾がある場合、最新のバージョンが優先されます。

全てのデザインとソフトウェアは、予告・通知なしに変更される場合があります。

本書内のすべての商標、登録商標、および会社名は、知れぞれの所有者の財産になります。

## 安全にご使用いただくには

この取扱説明書は、製品を正しく適切に使用していただくためのものです。

危険・物的損害を避けるため、ご使用前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、大切に保管してください。

### 動作要件

- ・ デバイスを直射日光にさらさないでください。また、熱源から遠ざけてください。
- ・ 湿気の多い環境にデバイスを設置しないでください。ほこりやすずを避けてください。
- ・ デバイスへの液体の流入を避けてください。
- ・ 歓喜の良い環境にデバイスをインストールしてください。デバイスの通気口をふさがないでください。
- ・ 定格入力および出力電圧でデバイスを使用してください。
- ・ 専門家の指示なしにデバイスを分解しないでください。
- ・ 温度と湿度の許容範囲内でデバイスを輸送、使用、保管します。

### 電源要件

- ・ バッテリーを適切に使用して、火災、爆発、その他の危険を避けてください。
- ・ バッテリーを交換する際は、ご購入店に相談し、同じタイプのバッテリーと交換してください。
- ・ 付属の電源コードを使用してください。
- ・ 付属の電源アダプターを使用してください。

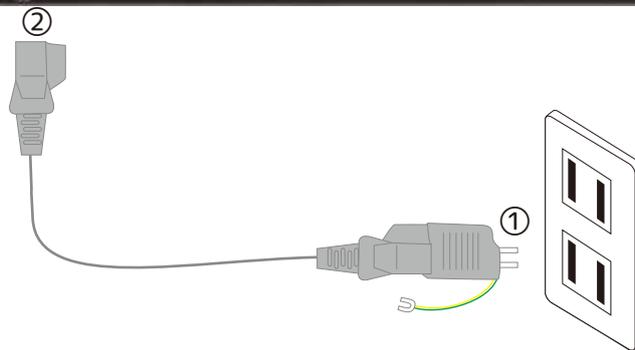
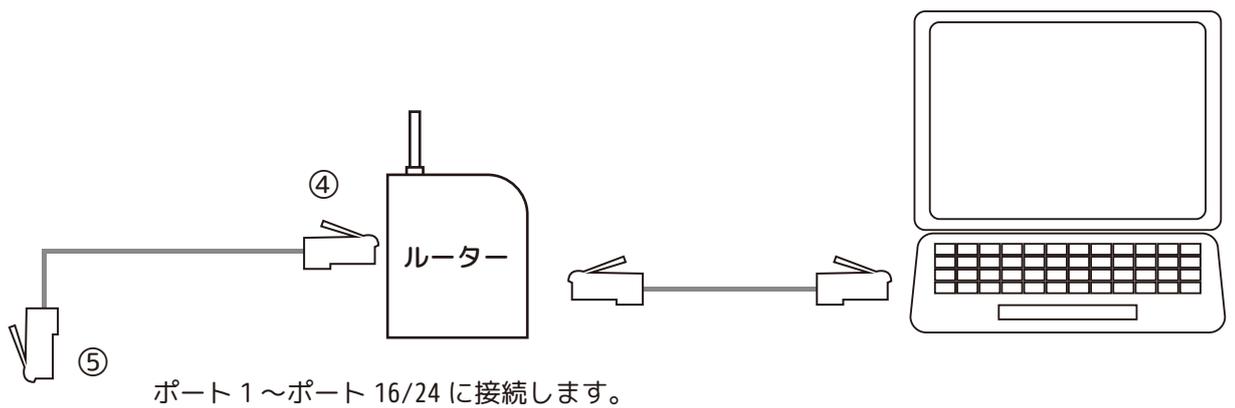
## 接続・ログイン前の確認

### 確認事項

- ・スイッチの IP アドレスを設定しています。VLAN1 の IP アドレスの初期値は「192.168.1.110」です。
- ・パソコンからの ping 応答があることをご確認ください。

### ログイン方法

- ・ Web ブラウザ ( 推奨 : IE ) のアドレスバーにスイッチの IP アドレス ( 初期値 : 192.168.1.110 ) を入力します。



# Login( ログイン ) します

- ① 初めにパソコンのセグメントを初期値の IP アドレスに合わせます。
- ② web ログインするため、初期値の VLAN1 の IP アドレス : 192.168.1.110 を入力し Enter します。

 192.168.1.110

- ③ ログイン画面が表示されます。
- ④ 初期値のユーザー名 (admin) とパスワード (admin) を入力し、[Login] をクリックします。

## Web User Login

Login

- ⑤ 続いてパスワード変更画面が表示されます。
  - ⑥ 新しいパスワードを 8 文字から 32 個の文字で設定します。
  - ⑦ [New Password] と同じ文字を [Confirm Password] に入力し、[Confirm] をクリックします。
- ※数字、文字 ( 大小 )、特殊文字から少なくとも 2 種類が必要です。(「'」、「"」、「;」、「:」、「空白」、「&」、「番号」を除く。)

**! Except quotation,semicolon,colon,space and &.The length ranges from 8 to 32**

### Administrator changes password

New Password

Confirm Password

Confirm

※ログイン時パスワードを間違えた場合のメッセージ

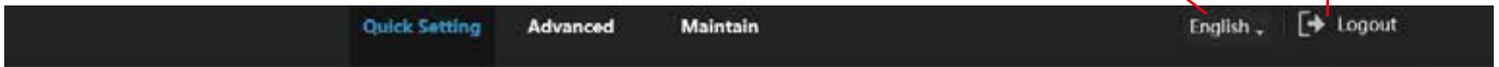
Invalid user name or password.You still have 4 attempt(s)

OK

# System Info

英語・中国語より選択します。  
本書は英語の画面でご案内いたします。

ログアウトします。



システム情報を表示します。

※下図のスイッチには 24 のポートがあります。モデルによりその数は異なります。

Auto Refresh:



## System Info

Device Name SWITCH  
Device Type PFS4226-24GT-360  
Serial Number XXXXXXXXXXXXXXXX  
Software Version 1.001.0000000.2.R  
IP Address 192.168.1.110

Port	Port Type	Link	Flow Control	Speed/Duplex	VLAN	PoE	Receive Usage	Send Usage	Media Type
1	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
2	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
3	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
4	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
5	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
6	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
22	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
23	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Copper
24	Access	Up	On	10M Half	1	0W	0.1%	0.1%	Copper
25	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Fiber
26	Access	Down	Off	Down	1	0W	0%	0%	Fiber

スイッチのポートが緑色の場合、ポートが正常に接続されています。

スイッチのポートが灰色の場合、ポート未接続もしくは、接続に失敗しています。( 図は [24] ポートのみ接続中です。)

Port	スイッチの全てのポートを表示
Port Type	Access / Hybrid / Trunk
Link	Up : ポートが接続されている状態 / Down : ポートが接続されていない状態 ( 接続失敗の状態 )
Flow Control	フロー制御 On/Off
Speed/Duplex	オンライン時 : ポートレートとデュプレックスモードを表示 / オフライン時 : Down を表示
VLAN	VLAN ポート ( 初期値 : VLAN1 )
PoE(1-24/1-16)	PoE の消費電力を表示
Receive Usage	現在の受信速度を表示
Send Usage	現在の送信速度を表示
Media Type	Copper : RJ-45 / Fiber : ファイバーポート

# Quick Setting



## Local

デバイス名、IP アドレス、及びサブネットマスク設定ができます。

[Local] アイコンをクリックすると、ローカルインターフェースが表示されます。

デバイス名、IP アドレス、マスク長を入力し「OK」をクリックします。

Device Name	SWITCH
IP Address	192.168.1.110
Mask Length	24



## Local

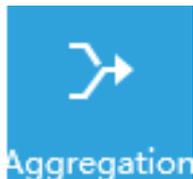
ポートを VLAN に追加し、VLAN を構成します。初期値のポートは、VLAN1 です。

[VLAN] アイコンをクリックします。VLAN インターフェースが表示されます。

Port	Mode	Port VLAN	Allowed VLANs
1	Access	1	1
2	Access	1	1
3	Access	1	1
4	Access	1	1
5	Access	1	1
6	Access	1	1
7	Access	1	1

Port	スイッチの全てのポートを表示
Mode	Access：ポートが端末デバイス (PC/IPC 等) に接続すると選択されます。 Trunk：ポートがスイッチに接続したら、トランクを選択します。 Hybrid：使用しません。
Port Vlan	ポートを VLAN に追加します。初期値：VLAN1、範囲：1～4094
Allowed VLANs	Mode が Trunk の場合設定可能

# Quick Setting



## Aggregation

複数のスイッチポートを静的・動的集約します。

[Aggregation] アイコンをクリックし、設定ページを表示します。

Aggregation インターフェースが表示されます。

### Aggregation



	Mode	1	2	3	4	5	18	19	20	21	22	23	24	25	26
Status		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Receive Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.1%	0%	0%
Send Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
Group		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group1	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group2	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group11	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group12	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group13	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

< [Dropdown Menu] >

- Disabled
- Static
- LACP(Active)
- LACP(Passive)

OK Cancel

複数のスイッチポートや NIC を結合または結束して、単一のイーサチャンネル（例）ポート 1 とポート 2 をグループ 1 に追加します。

Mode を Static にします。（例）ポート 1 とポート 2 を Group1 に追加します。「OK」をクリックします。

24 ポート PoE スイッチの場合、最大 13 グループまで集約できます。この数はモデルによって異なります。

（例）ポート 1 とポート 2 は logical ポートを形成します。

	Mode	1	2	3	4
Status		■	■	■	■
Receive Usage		0%	0%	0%	0%
Send Usage		0%	0%	0%	0%
Group		●	●	●	●
Group1	Static	●	●	●	●
Group2	Disabled	●	●	●	●

# Quick Setting



## IP & Route

VLAN 仮想インターフェースの IP アドレスと IP ルートを追加できます。

[IP & Route] アイコンをクリックし、設定ページを表示します。

IP & Route インターフェースが表示されます。

IP & Route ×

IP Config + Add 🗑 Delete

<input type="checkbox"/>	VLAN	IP Address	Mask Length	Delete
<input type="checkbox"/>	1	192.168.1.110	24	🗑

Route Config + Add 🗑 Delete

<input type="checkbox"/>	Network	Mask Length	Next Hop	Delete
--------------------------	---------	-------------	----------	--------

OK Cancel

IP Config の [+Add] をクリックすると、新しい 1 行が表示されます。入力後「OK」をクリックします。

VLAN	VLAN 番号を設定します。
IP address	VLAN インターフェースの IP アドレスを設定します。
Mask Length	VLAN インターフェースのマスク長を設定します。

Route Config の [+Add] をクリックすると、新しい 1 行が表示されます。入力後「OK」をクリックします。

Network	IP パケットの宛先アドレスです。
Mask Length	デスティネーション (宛先) アドレスを含むマスク長は、宛先ホストまたはルートの IP アドレスを識別するためのものです。 デスティネーションアドレスとネットワークマスクのアドレスを取得できます。
Next Hop	ルートのネクストホップ

# Advanced/Common

システム、ポート、VLAN、アグリケーション、MAC テーブル、その他のパラメータを設定できます。  
デバイス名、IP アドレス、マスク長、DHCP の有効化、ソフトウェア情報、ハードウェア情報、時間の設定をします。

※注意※

DHCP クライアントを有効にするときは注意してください。

DHCP クライアント、IP ルーター、もしくは DHCP を有効にした後、スイッチに接続するサーバーは自動的にスイッチに IP アドレスを割り当て、既存の IP アドレスは無効になり、Web インターフェースにアクセスできなくなります。

## System Config [System Info]

①Advanced → ②Common → ③System Config → ④System Info

⑤デバイス名、IP アドレス、マスク長、DHCP : 有効 / 無効

⑥Save をクリックして保存します。

The screenshot shows the 'System Config [System Info]' page. At the top, there are navigation tabs: 'Quick Setting', 'Advanced ①', and 'Maintain'. Below these are sub-tabs: '② Common', '④ System Info', 'IP&Route', 'Current Time', and 'Log'. The 'System Config' sub-tab is selected, indicated by a '③' next to it. The main content area is divided into sections: 'System:' (with a '⑤' next to it), 'Software:', 'Hardware:', and 'Time:'. The 'System:' section contains four fields: 'Device Name:' with the value 'SWITCH', 'IP Address:' with '192.168.1.110', 'Mask Length:' with '24', and 'DHCP Enable:' with a checked checkbox. A red box highlights these four fields. The 'Software:' section shows 'Software Version: 1.001.0000000.2.R' and 'Compile Date: 2019-03-28 19:03:49+08:00'. The 'Hardware:' section shows 'Device Name: SWITCH', 'Device Type: PFS4226-24GT-360', 'IP Address: 192.168.1.110', 'Mask Length: 24', 'MAC Address: a1-b2-c3-d4-e5-f6', and 'Serial Number: xxxxxxxxxxxxxxxx'. The 'Time:' section shows 'System Date: 2019-12-09 11:25:25' and 'System Running Time: 9 days 23:58:39'. At the bottom, there are two buttons: '⑥ Save' and 'Refresh'.

# Advanced/Common

## System Config [IP & Route]

異なる VLAN のホストは通信できません。ルートまたはレイヤ 3 スイッチが必要です。

スイッチは VLAN インターフェースを介したレイヤ 3 転送をサポートします。VLAN インターフェースは仮想です。

①Advanced → ②Common → ③System Config → ④IP & Route

⑤ ⑤' [+add] をクリックします。

⑥Save をクリックして保存します。

The screenshot shows a network configuration page with a dark header. The main content area is divided into several sections:

- Quick Setting**: ① Advanced (selected), Maintain
- System Info**: ④ IP&Route (selected), Current Time, Log
- System Config**: ③ System Config (selected), IP Setting (selected), + Add, Delete, Auto Refresh: [checked] [refresh icon]
- IP Setting**: A table with columns: VLAN, IP Address, Mask Length, Delete, Delete IP. One entry is shown: VLAN 1, IP Address 192.168.1.110, Mask Length 24.
- Route Setting**: + Add, Delete. A table with columns: Destination, Mask Length, Protocol, Priority, Next Hop, Egress. One entry is shown: Destination 192.168.1.0, Mask Length 24, Protocol Direct, Priority 0, Next Hop VLAN1, Egress -.
- Save**: A blue button at the bottom left, labeled ⑥.

⑤

### Add IP

VLAN  VLAN 番号を入力します。

IP Address  VLAN インターフェースの IP アドレスを設定します。

Mask Length  IP アドレスのマスク長を設定します。

「OK」をクリックして、IP ルートを追加します。

⑤'

### Add Route

Network  IP パケットの宛先です。

Mask Length  マスク長

Next Hop  ルートのネクストホップ IP

「OK」をクリックします。

# Advanced/Common

## System Config [Current Time]

①Advanced → ②Common → ③System Config → ④Current Time

次の3つの方法でシステム時刻を設定できます。

・ 手動設定 : ①を直接クリックして修正します。

・ PC 時刻同期 : ②[Sync PC] をクリックしてパソコンと自動で同期します。

・ NTP サーバー時刻同期 : ③チェックを入れて [NTP Enable] を有効にします。

④NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

※切替時間は、サーバー 1 もしくはサーバー 2 の時間と自動的に同期します。

⑤設定後 [Save] をクリックして保存します。

The screenshot shows the configuration page for 'Current Time' in a network device's web interface. The top navigation bar includes 'Quick Setting', '① Advanced', and 'Maintain'. The left sidebar has 'Common ②' expanded, showing 'System Config ③' selected. The main content area is titled 'Current Time' and contains the following elements:

- A date input field showing '2019-12-09' with a calendar icon. A red callout points to the icon with the text '日付け変更ができます。' (Date change is possible).
- A time input field showing '① 16 : 32 : 15'.
- A blue 'Sync PC' button with a '②' callout.
- An 'NTP Enable' checkbox with a '③' callout, currently unchecked.
- Two input fields for 'Server1' and 'Server2', with a '④' callout pointing to the 'Server2' field.
- At the bottom, 'Save' and 'Refresh' buttons, with a '⑤' callout pointing to the 'Save' button.

# Advanced/Common

## System Config [Log]

ログを表示、ログをエクスポート、ログをクリアします。

①Advanced → ②Common → ③System Config → ④Log

⑤Start Time → ⑥End Time → ⑦Log Level を選択します。

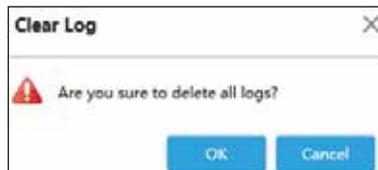
⑧Search をクリックします。

⑨Export → 全てのログをエクスポートします。

⑩Clear → 全てのログをクリアします。

⑦

- Error
- Warning
- Notice
- Informational
- All



Quick Setting ① Advanced Maintain English Logout

Common ②

System Info IP&Route Current Time ④ Log

③ System Config

Port

VLAN Settings

Aggregation

MAC Table

Spanning Tree

> Seldom-used

Start Time: ⑤ 2019-12-01 00 : 00 : 00 End Time: ⑥ 2019-12-09 16 : 40 : 20

Log Level: All ⑦ Search ⑧

No.	Log Time	Log Level	Description
1	2019-12-03 18:52:39	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
2	2019-12-05 17:26:23	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
3	2019-12-06 13:48:00	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
4	2019-12-06 15:10:01	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
5	2019-12-06 15:44:55	Informational	LOGOUT: user [admin] logout in agent:http
6	2019-12-06 15:45:02	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
7	2019-12-06 17:26:28	Informational	LOGOUT: user [admin] logout in agent:http
8	2019-12-06 17:26:34	Informational	LOGIN: user [admin] login in agent:http
9	2019-12-06 18:09:20	Informational	LOGOUT: user [admin] logout in agent:http

⑨ Export ⑩ Clear

1 / 2 1

# Advanced/Common

## Port [Port Configuration]

速度、全二重通信、半二重通信の設定をします。

①Advanced → ②Common → ③Port → ④Port Configuration

⑤設定を終えたら [Save] をクリックして終了します。

▼ Common ② **Port Configuration ④**

System Config

**③ Port**

VLAN Settings

Aggregation

MAC Table

Spanning Tree

► Seldom-used

Port	Link	Speed Duplex Status	Speed Duplex Setting	Flow Control Status	Flow Control Setting	Ingress Limit Enable	Ingress Limit(kbps)	Egress Limit Enable	Egress Limit (kbps)	Receive Usage	Send Usage
23	Down	Down	Auto	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	500	<input type="checkbox"/>	500	0%	0%
24	Up	100M Full	Auto	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	500	<input type="checkbox"/>	500	0.1%	0%
25	Down	Down	Auto	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	500	<input type="checkbox"/>	500	0%	0%
26	Down	Down	Auto	Off	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	500	<input type="checkbox"/>	500	0%	0%

⑤

Save Refresh

Port	スイッチの全てのポートを表示	
Link	緑 Up：ポートが正常に接続 赤 Down：ポートが未接続、接続失敗	
Speed Duplex Status	Down：切断 / 特定の速度：接続に成功 Full：全二重通信 / Half：半二重通信	
Speed Duplex Setting	Auto/10M Full/10M Half/100M Full/100M Half/1G Full より選択	
Flow Control State	ON：ネゴシエーション成功 OFF：ネゴシエーション失敗	
Flow Control Setting	<input checked="" type="checkbox"/> : フロー制御 ON <input type="checkbox"/> : フロー制御 OFF	
Ingress Limit Enable	<input checked="" type="checkbox"/> : イングレス有効 <input type="checkbox"/> : イングレス無効	
Ingress Limit(kbps)	イングレスのリミットを入力	<b>⚠ Range(100-3276700)</b>
Egress Limit Enable	<input checked="" type="checkbox"/> : エグレス有効 <input type="checkbox"/> : エグレス無効	
Egress Limit(kbps)	エグレスのリミットを入力	<b>⚠ Range(100-3281943)</b>
Receive Usage	受信の使用状況を表示	
Send Usage	送信の使用状況を表示	

# Advanced/Common

## Vlan Settings [Vlan Settings]

VLAN に 1,2 を入力して、VLAN1 及び VLAN2 を作成します。

①Advanced → ②Common → ③Vlan Settings → ④Vlan Settings

⑤設定を終えたら [Save] をクリックして終了します。

② Common

System Config

Port

③ VLAN Settings

Aggregation

MAC Table

Spanning Tree

④ VLAN Settings

VLANs 1 The allowable range is '1-4094'. Such as '2', '3,7' or '1-9'

Port	Mode	Port VLAN	Ingress Acceptance	Egress Tagging	Allowed VLANs
23	Access	1	Tagged and Untagged	Untag All	1
24	Access	1	Tagged and Untagged	Untag All	1
25	Access	1	Tagged and Untagged	Untag All	1
26	Access	1	Tagged and Untagged	Untag All	1

⑤ Save

Port	スイッチの全てのポートを表示
Mode	Access、Hybrid、Trunk
Port VLAN	ポートを VLAN に追加 初期値：VLAN1 範囲：1～4094
Ingress Acceptance	[Hybrid] 選択時のみ設定可能です。 タグ付き及びタグ無し：全てのデータがポートに流れます。 タグ付きのみ：タグ付きデータのみがポートに流れます。 タグ無しのみ：タグ無しデータのみがポートに流れます。
Egress Tagging	[Hybrid / Trunk] 選択時に設定できます。 ポート VLAN のタグ付け解除：データフロータグが PVID と同じ場合、タグが剥がれます。 全てにタグ付け：全てのデータにタグが付けられます。 全てのタグを解除：全てのデータにタグが付けられません。
Allowed VLANs	許可された VLAN を設定します。(範囲：1～4094)

# Advanced/Common

## Aggregation [Aggregation]\_1

スイッチの複数の物理ポートを論理ポートに形成します。

同じグループ内のリンクは、より大きな帯域幅を持つ論理リンクとみなすことができます。

集約により、同じグループ内のポートは通信フローを共有して、より広い帯域幅になります。

同じグループのポートは相互にバックアップができて、リンクの信頼性を強化します。

①Advanced → ②Common → ③Aggregation → ④Aggregation → ⑤Aggregation Configuration

⑥設定を終えたら [Save] をクリックして保存します。

Quick Setting ① Advanced Maintain English Logout

Common ② Aggregation ④ ⑤

System Config Aggregation Configuration  Source MAC Address  Destination MAC Address  IP Address  TCP/UDP Port

Port	Mode	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
Status		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
Receive Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
Send Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
Group		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group1	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group2	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group3	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group4	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group5	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group6	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group7	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group8	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group9	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group10	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group11	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group12	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Group13	Disabled	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

⑥ Save Refresh

Aggregation Configuration より集約負荷分散アルゴリズムモードを 4 つの中から選択します。

<Source MAC Address>

MAC アドレスに基づく集約負荷分散アルゴリズム

<Destination MAC Address>

宛先 MAC アドレスに基づく集約負荷分散アルゴリズム

<IP Address>

IPv4 アドレスに基づく集約負荷分散アルゴリズム

<TCP/UDP Port>

宛先 TCP/UDP ポートに基づく集約負荷分散アルゴリズム

※最大グループ数は、スイッチのモデルによって異なります。

# Advanced/Common

## Aggregation [Aggregation]\_2

Mode - static

動的集約グループにポートを追加し、論理ポートを形成します。

Mode - LACP(Active/Passive)

LACP(Link Aggregation Control Protocol)は、リンク動的集約のためのプロトコルです。

LACPDU(Link Aggregation Control Protocol Data Unit)を介して別のポートと通信します。

・ Active : ポートは LACPDU パケットを反対側のポートに Active に送信し、分析します。

・ Passive : ポートは LACPDU パケットを Active に送信できません。LACP パケットを受信した後、反対側のポートから送信されたポートは、LACP を分析します。

Disabled

Static

LACP(Active)

LACP(Passive)

	Mode	1	2	3	4	5	6	7
Status		■	■	■	■	■	■	■
Receive Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
Send Usage		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
Group		○	○	○	○	○	○	●
Group1	Static	●	●	○	○	○	○	○
Group2	LACP(Active)	○	○	●	●	○	○	○
Group3	LACP(Passive)	○	○	○	○	●	●	○
Group4	Disabled	●	●	●	●	●	●	●

例 (上図)

Mode を static にします。

ポート 1、ポート 2 をグループ 1 に追加します。

Mode を LACP(Active) にします。

ポート 3、ポート 4 をグループ 2 に追加します。

Mode を LACP(Passive) にします。

ポート 5、ポート 6 をグループ 3 に追加します。

設定後 [Save] をクリックして保存します。

# Advanced/Common

## MAC Table [Mac Address Table]

①Advanced → ②Common → ③MAC Table → ④Mac Address Table → ⑤[+ Add]

⑥設定を終えたら [OK] をクリックして終了します。

The screenshot shows the 'MAC Address Table' configuration page. At the top, there are tabs for 'Quick Setting' (with a circled 1) and 'Advanced', and a 'Maintain' tab. On the right, there are 'English' and 'Logout' options. The left sidebar shows a navigation menu with 'Common' (circled 2) expanded, and 'MAC Address Table' (circled 4) selected. Below the sidebar, there are buttons for '+ Add', 'Delete', and 'Refresh'. The main area contains a table with columns: 'MAC Address', 'Type', 'VLAN', 'Port', and 'Delete'. The table lists several dynamic MAC addresses bound to VLAN 1 and Port 24. At the bottom right, there is a pagination control showing '1 / 4'.

MAC(Media Access Control) アドレスを特定の VLAN ポートにバインドします。

例) バインドする MAC アドレス : 00:00:00:00:00:01 から VLAN2 のポート 3 へ。

+add をクリックします。MAC アドレス、Port、VLAN を入力し OK します。

⑤

### Add Static MAC Address

MAC Address   
Example:00:23:AE:77:10:53

Port

VLAN

⑥

# Advanced/Common

## MAC Table [Port Mac Filtering]

①Advanced → ②Common → ③MAC Table → ④PORT MAC Filtering

→ ①(例)ポート 24 をクリックします。 → ②Enable(有効)にします。

→ ③MAC アドレスを一つ選択し、Reserved をクリックし、Save します。Dynamic が Static に変わります。

静的 MAC デバイスがポートと通信できます。

→ ⑤[+ Add]

→ ⑥MAC アドレスと VLAN を入力後 [OK] をクリックします。

→ ⑦MAC ホワイトリストのデバイスは、ポートと正常に通信できます。

The screenshot shows the configuration interface for the MAC Table. The top navigation bar includes 'Quick Setting', 'Advanced', and 'Maintain'. The left sidebar shows 'Common' with 'MAC Table' selected. The main area displays 'MAC Address Table' and 'Port MAC Filtering'. A network device image shows port 24 highlighted with a circled 1. Below it, a toggle for 'Port <24> Enable' is shown with a circled 2. A table lists MAC entries with columns for No., MAC Address, Type, VLAN, Port, Reserved State, Reserved, and UnReserved. Entry 1 is highlighted with a circled 3. A circled 4 points to the 'Reserved' button for entry 1. A circled 5 points to the 'Add' button. A dialog box titled 'Add MAC Whitelist' (circled 5) contains fields for 'MAC Address' (with an example: 00:23:AE:77:10:53) and 'VLAN', and 'OK' and 'Cancel' buttons (circled 6). A circled 7 points to entry 30 in the table, which has 'Static' as its Type.

No.	MAC Address	Type	VLAN	Port	Reserved State	Reserved	UnReserved
1		Dynamic	1	24	UnReserved	Reserved	UnReserved
10		Dynamic	1	24	UnReserved	Reserved	UnReserved
30		Static	1	24	Reserved	Reserved	UnReserved

# Advanced/Common

## Spanning Tree [STP Port Settings]

スパニングツリープロトコルは、レイヤ2のプロトコルです。これによりレイヤ2のリングサイクル

- ①Advanced → ②Common → ③Spanning Tree → ④STP Port Settings → ⑤STM Modeを選択  
⑥Save をクリックします。

The screenshot shows a web-based configuration interface. At the top, there are tabs for 'Quick Setting', 'Advanced' (selected), and 'Maintain'. In the top right corner, there is a language dropdown set to 'English' and a 'Logout' button. On the left side, a navigation menu is visible with 'Common' expanded to show 'Spanning Tree' selected. The main content area is titled 'STP Port Settings'. At the top of this area, there is a dropdown menu for 'STP Mode' currently set to 'Disable', with a circled '5' next to it. Below this is a table with the following columns: 'Port', 'Enable Priority' (with a checkbox), 'RPC', 'State', 'Status', 'Designated Bridge', and 'Designated Port'. The table is currently empty. At the bottom left of the main content area, there is a blue 'Save' button.

⑤	Disable	
	STP	スパニングツリープロトコル
	RSTP	ラピッドスパニングツリープロトコル
	MSTP	マルチプルスパニングツリープロトコル

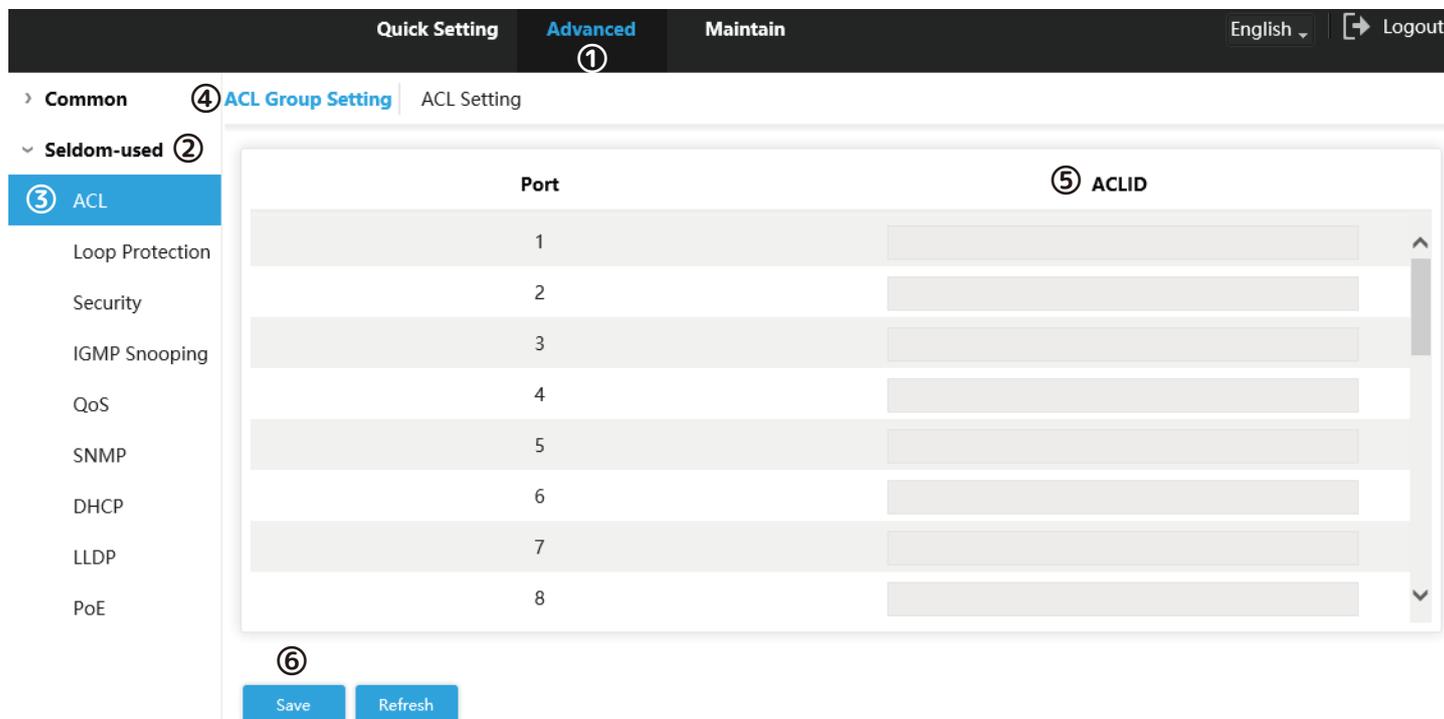
# Advanced/Seldom-used

## ACL [ACL Group Setting]

①Advanced → ②Seldom-used → ③ACL → ④ACL Group Setting

⑤ACL IDを設定します。(範囲は1～128です。)

⑥[Save] をクリックして保存します。

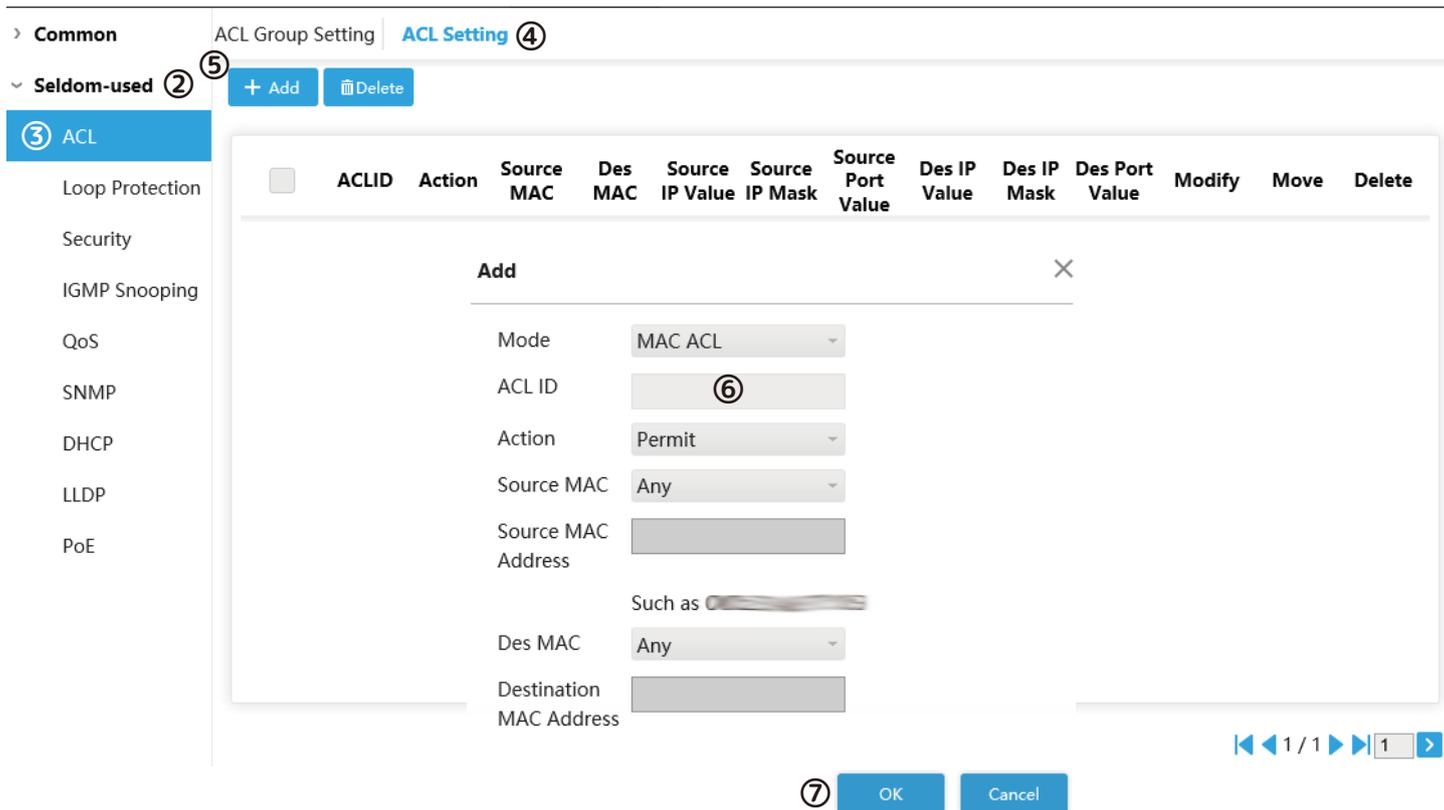


Port	ACLID
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

①Advanced → ②Seldom-used → ③ACL → ④ACL Setting

→ ⑤[+ Add] → ⑥ACL IDを設定します。(範囲は1～128です。)

→ ⑦[OK] をクリックして終了します。



ACLID	Action	Source MAC	Des MAC	Source IP Value	Source IP Mask	Source Port Value	Des IP Value	Des IP Mask	Des Port Value	Modify	Move	Delete
-------	--------	------------	---------	-----------------	----------------	-------------------	--------------	-------------	----------------	--------	------	--------

**Add** [X]

Mode: MAC ACL

ACL ID: ⑥

Action: Permit

Source MAC: Any

Source MAC Address: [ ]

Such as: [ ]

Des MAC: Any

Destination MAC Address: [ ]

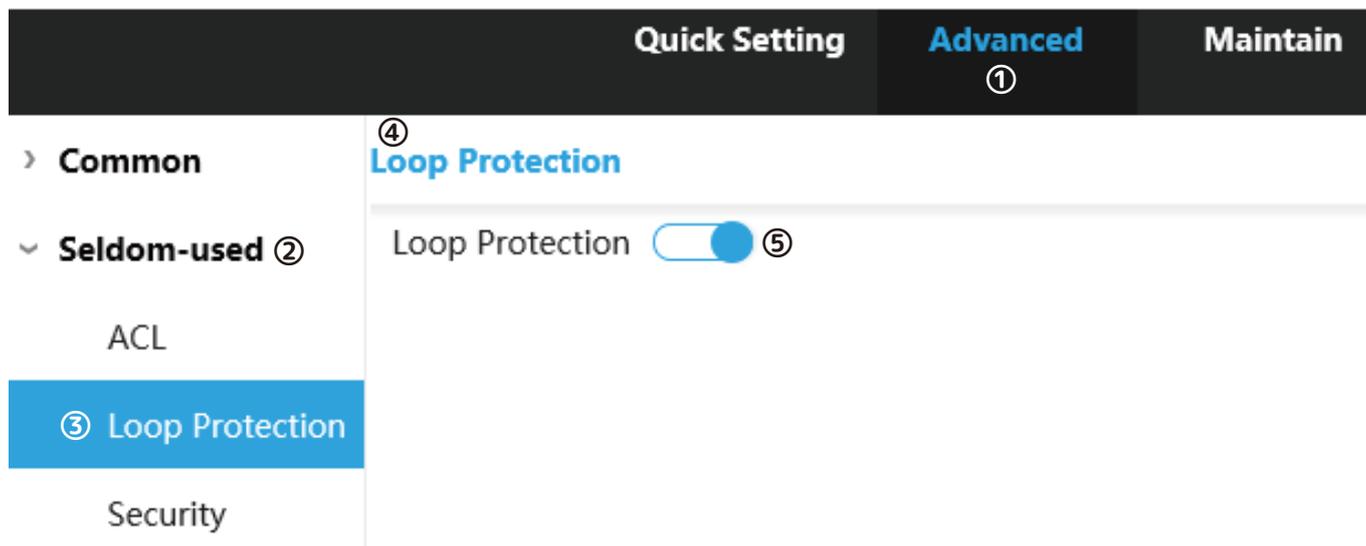
# Advanced/Seldom-used

## Loop Protection [Loop Protection]

ポート間のループを検出します。デバイスがループを検出すると、ループが解除されます。

①Advanced → ②Seldom-used → ③Loop Protection → ④Loop Protection

⑤ループ保護を有効にします。

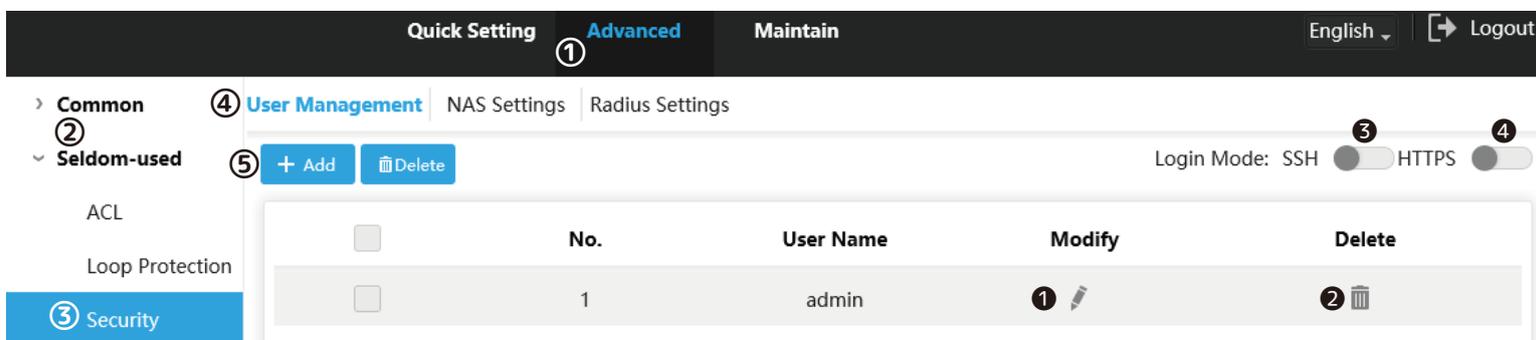


## Security [User Management]

ユーザーを追加、編集、および削除できます。

①Advanced → ②Seldom-used → ③Security → ④User Management

⑤[+Add] をクリックします。



⑤

**Add User**

User Name

Password

Confirm Password

⑥ユーザーを追加します。

ユーザー名、パスワード、および確認用パスワードを入力します。  
(パスワードは、8文字から32個の文字で設定します。)

※数字、文字(大小)、特殊文字から少なくとも2種類が必要です。  
(「'」、「"」、「;」、「:」、「空白」、「&」、「番号」を除く。)

⑦[OK] をクリックして終了します。

①ユーザーを編集

②ユーザーを削除 ※adminユーザーは削除できません。

③SSH機能の無効/有効

④HTTPSサービスの無効/有効

# Advanced/Seldom-used

## Security [NAS Settings]

NAS(Network Access Server)は、ISPがインターネットアクセスサービスを提供できるようにするサーバーです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③Security → ④NAS Settings

Port	Admin State (7)	Port State
16	Force Authorized	Globally Disabled
17	Force Authorized	Globally Disabled

⑤Mode を [Enabled] に変更し、ミラーリングを有効にします。

⑥Reauthentication Enabled にを入れ、再認証を有効にします。

⑦Admin State(管理状態)を「Force Authorized / Force Unauthorized / Port based 802.1X / MAC-based Auth」より選択し設定します。

⑧[Save] をクリックし、保存します。

## Security [Radius Settings]

RADIUS(Remote Authentication Dial-in User Service)は、AAA(Authentication,Authorization,and Accounting)を実現する一般的なプロトコルです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③Security → ④Radius Settings

→ ⑤[+ Add] 新しいサーバーを追加します。

Server Address、Auth Port(認証ポート)、Acct Port(アカウントポート)、Retransmit(再送信)、Key、を設定します。

⑥設定後 [Save] をクリックし、保存します。

Server Address	Auth Port	Acct Port	Retransmit	Key	Delete
----------------	-----------	-----------	------------	-----	--------

# Advanced/Seldom-used

## IGMP Snooping [IGMP Snooping]

NAS(Network Access Server)は、ISPがインターネットアクセスサービスを提供できるようにするサーバーです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③IGMP Snooping → ④IGMP Snooping

①[IGMP Snooping]をEnable(有効)にします。

②[Discarding Unknown Multicast Packets]をEnable(有効)にします。

⑤[+Add]をクリックします。VLAN ID、Querier Addressを入力し、Querier Electionに☑を入れ有効にします。

⑥[OK]をクリックします。

⑦[Save]をクリックして保存します。

The screenshot displays the configuration page for IGMP Snooping. The top navigation bar includes 'Quick Setting', 'Advanced' (selected), and 'Maintain'. The left sidebar shows a menu with 'Seldom-used' expanded to 'IGMP Snooping'. The main content area shows the following settings:

- IGMP Snooping:  Enable (labeled ①)
- Discarding Unknown Multicast Packets:  Disable (labeled ②)

Below the settings are '+ Add' and 'Delete' buttons (labeled ⑤). A table with the following columns is visible: VLAN ID, Querier Election, Querier Address, and Delete.

An 'Add VLAN' modal window (labeled ⑤) is open, containing the following fields:

- VLAN ID:
- Querier Election:
- Querier Address:

The modal window has 'OK' (labeled ⑥) and 'Cancel' buttons. At the bottom of the main page, there is a 'Save' button (labeled ⑦) and a 'Refresh' button.

# Advanced/Seldom-used

## QoS [Port Classification]

QoS(Quality of Service)は、通信の速度や品質を保证するための仕組みです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③QoS → ④Port Classification

①[CoS]を設定します。

例) ポート1を「1」に、ポート2を「2」に設定します。ポート1とポート2は入力ポートであり、ポート3は出力ポートです。ポート2のCoS値はポート1よりも大きいため、ポート2のデータが最初にポート3を通過します。

②DSCP(Differentiated Services Code Point)：必要な場合は☑を入れます。

⑤[Save]をクリックして保存します。

Quick Setting ① **Advanced**Maintain

④ **Port Classification** | Port Schedulers | Port Shapers | DSCP-Based | Storm Policer

Port	① CoS	② <input type="checkbox"/> DSCP	例) Port	CoS	<input type="checkbox"/> DSCP
1	0	<input type="checkbox"/>	1	1	<input type="checkbox"/>
2	3	<input type="checkbox"/>	2	2	<input type="checkbox"/>
3	4	<input type="checkbox"/>	3	0	<input type="checkbox"/>
4	5	<input type="checkbox"/>	4	0	<input type="checkbox"/>
5	6	<input type="checkbox"/>	5	0	<input type="checkbox"/>
6	7	<input type="checkbox"/>			
7	0	<input type="checkbox"/>			
8	0	<input type="checkbox"/>			
9	0	<input type="checkbox"/>			
10	0	<input type="checkbox"/>			
11	0	<input type="checkbox"/>			
12	0	<input type="checkbox"/>			

⑤ Save

# Advanced/Seldom-used

## QoS [Port Schedulers]

①Advanced → ②Seldom-used → ③QoS → ④Port Schedulers

①Port 番号をクリックします。[QoS Egress Port Scheduler and Shapers Port1] が表示されます。

②[Strict Priority] : スイッチの出力ポートを通過するパケットの優先順位は、ポート分類の CoS 値。

③[6 Queues Weighted] : 例) 最大速度制限ポート 1 及びポート 2 は 500kbps です。輻輳が発生すると、50% の入力ポートパケットが、出力ポートを渡します。[Ingress Queue Shaper] で、Q0 及び Q1 のレートを 500kbps に設定し、回線となるレートタイプ。[Egress Queue Shaper] で Rate を 500kbps に設定し、Rate-type を Line に設定します。輻輳が発生し、2 つのポートの速度が 400kbps の場合、出力ポートは 250kbps です。

⑤[OK] をクリックして閉じます。

Quick Setting **Advanced** ① Maintain English Logout

Common  
Seldom-used ②  
ACL  
Loop Protection  
Security  
IGMP Snooping  
**③ QoS**  
SNMP  
DHCP  
LLDP  
PoE

Port Classification **Port Schedulers** ④ Port Shapers DSCP-Based Storm Policer

Port	Mode	Q0	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7
16	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
17	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
18	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
19	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
20	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
21	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
22	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
23	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
24	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
25	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-
26	Strict Priority	-	-	-	-	-	-	-	-

**QoS Egress Port Scheduler and Shapers Port 1** ②

Scheduler Mode: 6 Queues Weighted ③

Ingress Queue Shaper				Queue Scheduler	
QPort	Enable	Rate	Unit	Weight	Percent
Q0	<input checked="" type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q1	<input checked="" type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q2	<input checked="" type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q3	<input type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q4	<input type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q5	<input type="checkbox"/>	500	kbps	17	17%
Q6	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q7	<input type="checkbox"/>	500	kbps		

**Egress Queue Shaper**

Enable Rate Unit

500 kbps

⑤ OK Cancel

# Advanced/Seldom-used

## QoS [Port Shapers]

①Advanced → ②Seldom-used → ③QoS → ④Port Shapers

①Port 番号をクリックします。[QoS Egress Port Scheduler and Shapers Port1] が表示されます。

②[Strict Priority] もしくは [6 Queues Weighted] を選択します。

⑤[OK] をクリックして閉じます。

The screenshot shows the configuration page for QoS Port Shapers. The top navigation bar includes 'Quick Setting', 'Advanced' (with a circled 1), and 'Maintain'. The right side has 'English' and 'Logout'. The left sidebar shows 'Common' and 'Seldom-used' (with a circled 2), with 'QoS' (with a circled 3) selected. The main content area has tabs for 'Port Classification', 'Port Schedulers', 'Port Shapers' (with a circled 4), 'DSCP-Based', and 'Storm Policer'. A table lists ports 15 through 26. A configuration window for 'QoS Egress Port Scheduler and Shapers Port 1' is open, showing 'Scheduler Mode' set to 'Strict Priority' (with a circled 2). Below this is a table for 'Ingress Queue Shaper' with columns for 'QPort', 'Enable', 'Rate', 'Unit', 'Weight', and 'Percent'. The 'Q0' row is checked and has a rate of 500 kbps. Below that is the 'Egress Queue Shaper' section, which is also checked and has a rate of 500 kbps. At the bottom right of the configuration window are 'OK' and 'Cancel' buttons, with a circled 5 next to the 'OK' button.

Port	Q0(kbps)	Q1(kbps)	Q2(kbps)	Q3(kbps)	Q4(kbps)	Q5(kbps)	Q6(kbps)	Q7(kbps)	Port Speed(kbps)
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

Ingress Queue Shaper				Queue Scheduler	
QPort	Enable	Rate	Unit	Weight	Percent
Q0	<input checked="" type="checkbox"/>	500	kbps		
Q1	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q2	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q3	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q4	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q5	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q6	<input type="checkbox"/>	500	kbps		
Q7	<input type="checkbox"/>	500	kbps		

Egress Queue Shaper		
Enable	Rate	Unit
<input checked="" type="checkbox"/>	500	kbps

# Advanced/Seldom-used

## QoS [DSCP-Based]

DSCP 機能を設定する前に、DSCP が有効になっていることを確認してください。

①Advanced → ②Seldom-used → ③QoS → ④DSCP-Based

①例 )DSCP を 4 及び 8 に設定する場合、CoS は 2 で DPL は 2 及び 1 です。

②例 )DSCP が 4 及び 8 の場合、Trust を選択して機能を有効にします。

DSCP を 4 に設定すると、CoS は 2、DPL は 2 になります。

DSCP を 8 に設定すると CoS は 2 で、DPL は 1 です。

DSCP の CoS が大きいほど、優先順位が高くなります。

⑤[Save] をクリックして保存します。

The screenshot shows a web-based configuration interface for QoS. On the left is a navigation menu with 'Common' and 'Seldom-used' sections. 'Seldom-used' is expanded, and 'QoS' is selected. The main area has tabs for 'Port Classification', 'Port Schedulers', 'Port Shapers', 'DSCP-Based', and 'Storm Policer'. The 'DSCP-Based' tab is active and contains a table with columns for DSCP, Trust, and CoS. A dropdown menu is open for the CoS column, showing values 3, 4, 5, 6, and 7. A 'Save' button is at the bottom.

DSCP	Trust	CoS
0	<input checked="" type="checkbox"/>	0
1	<input checked="" type="checkbox"/>	0
2	<input type="checkbox"/>	0
3	<input type="checkbox"/>	0
4	<input type="checkbox"/>	0
5	<input type="checkbox"/>	0
6	<input type="checkbox"/>	0
7	<input type="checkbox"/>	0
8	<input type="checkbox"/>	0
9	<input type="checkbox"/>	0

Save ⑤

# Advanced/Seldom-used

## QoS [Storm Policer]

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャストを含む3つのパケットを禁止します。

①Advanced → ②Seldom-used → ③QoS → ④Storm Policer

①「Unicast / Multicast / Broadcast」を選択します。

②Enable(有効)にを入れます。

③Rateに1～1024を入力します。最大1024fpsを受信できます。

⑤[Save]をクリックして保存します。

※注意※ **! Range(1-1024000)only two powers are allowed**  
正 (1-1024)  
誤 (1-1024000)

Quick Setting    **Advanced**    Maintain

①

Common    Port Classification    Port Schedulers    Port Shapers    DSCP-Based    **Storm Policer** ④

Seldom-used ②

- ACL
- Loop Protection
- Security
- IGMP Snooping
- ③ QoS**
- SNMP
- DHCP
- LLDP
- PoE

① Frame Type	② Enable	③ Rate	Unit
Unicast	<input type="checkbox"/>	1	fps
Multicast	<input type="checkbox"/>	1	fps
Broadcast	<input type="checkbox"/>	1	fps

⑤

**Save**

# Advanced/Seldom-used

## SNMP [SNMP]

SNMP(Simple Network Management Protocol) は、ネットワークの標準プロトコルです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③SNMP → ④SNMP

< SNMP v1 / SNMP v2 の場合 >

- ① [SNMP] を有効にします。
- ② 「SNMP v1 / SNMP v2」 に☑を入れます。
- ③ 各項目を設定します。
- ⑤ [Save] をクリックして保存します。

< SNMP v3 の場合 > (v3 にはエンジン ID があります。)

- ①' [SNMP] を有効にします。
- ②' 「SNMP v3」 に☑を入れます。
- ③' 各項目を設定します。
- ⑤ [Save] をクリックして保存します。

### SNMP ④

SNMP ①'  SNMP v1  SNMP v2  SNMP v3 ②'

Read-only Community public  
Read&write Community private  
Trap Address  
Trap Port  
Trap Name

Read-only Username  
Authentication Type MD5 SHA  
Authentication Password  
Encryption Type DES AES  
Encryption Password

Read&write Username  
Authentication Type MD5 SHA  
Authentication Password  
Encryption Type DES AES  
Encryption Password

⑤

Save Refresh

### Quick Setting Advanced ①

#### Common

#### ▼ Seldom-used ②

- ACL
- Loop Protection
- Security
- IGMP Snooping
- QoS
- ③ SNMP
- DHCP
- LLDP
- PoE

### SNMP ④

SNMP ①'   SNMP v1  SNMP v2 ②'

Read-only Community public  
Read&write Community private  
Trap Address  
Trap Port ③

⑤

Save Refresh

# Advanced/Seldom-used

## DHCP [DHCP Server]

SNMP(Simple Network Management Protocol) は、ネットワークの標準プロトコルです。

①Advanced → ②Seldom-used → ③DHCP → ④DHCP Server → ①～⑦必要に応じて設定します。

Quick Setting **Advanced** Maintain English Logout

Common

Seldom-used

ACL

Loop Protection

Security

IGMP Snooping

QoS

SNMP

**③ DHCP**

LLDP

PoE

DHCP Server

Global Mode

VLAN Mode + Add Delete

Excluded IP + Add Delete

VLAN Range Delete

Excluded IP Delete

Pool + Add Delete

Name	Type	IP	Subnet mask	Default Gateway	Lease Time	Client Identifier	Value	Delete
------	------	----	-------------	-----------------	------------	-------------------	-------	--------

### Add VLAN Mode

VLAN Range

OK Cancel

### Add Excluded IP

Excluded IP

OK Cancel

### Add Pool

Pool Name

Type Network

IP

Subnet Mask

Lease Time 1 days 0 hours 0 minutes

Default Router

Client Identifier None

OK Cancel

DHCP サーバーには「VLAN Mode / Excluded IP / Pool」の3種類あります。

①Global Mode を有効にします。

②VLAN Mode の [+Add] をクリックします。

例) 2-4 などの VLAN 範囲を入力します。

③[OK] をクリックします。

④Excluded IP の [+Add] をクリックします。

ネットワークセグメントを構成します。Excluded IP は、サーバーに予約されている IP を指し、クライアントには割り当てられません。192.168.100.2-192.168.100.50 などの IP アドレス範囲を入力します。

⑤[OK] をクリックします。

⑥Pool の [+Add] をクリックします。

Pool Name : vlan2\_test などの DHCP アドレスプール名

Type : ネットワーク / ホストより選択

IP : Network または Host の IP アドレス

Subnet Mask : Network または Host のサブネットマスク

Lease Time : アドレスプールのリース時間を入力

⑦[OK] をクリックします。

# Advanced/Seldom-used

## LLDP [LLDP]

LLDP(Link Layer Discovery Protocol)は、TLV(Type Length Value)としての主な機能、管理アドレス、デバイス番号、ポート番号、LLDPDU(Link Layer Discovery Protocol Data Unit)にカプセル化し、それをリリースします。

- ①Advanced → ②Seldom-used → ③LLDP → ④LLDP
- ⑤「Enable / Disable / Rx only / Tx only」より選択します。
- ⑥[Save] をクリックして保存します。

Interface	Mode ⑤
1	Enable
24	Enable
25	Enable
26	Enable

⑥ Save

Enable : LLDP パケットを送受信します。  
Disable : LLDP パケットを送受信しません。  
Rx only : LLDP パケットのみを受信します。  
Tx only : LLDP パケットのみを送信します。

## LLDP [LLDP Neighbor]

- ①Advanced → ②Seldom-used → ③LLDP → ④LLDP Neighbor
- LLDP Neighbor のインターフェースが表示されます。

Local Interface	Port ID	Port Description	System Name	System Capability	Management Address
No neighbor information found					
例) GigabitEthernet 1/8	Ethernet 1/0/5	Ethernet 1/0/5 Interface	SW1	Bridge(+), Router(+)	...(IPv4) -if-index:12 OID:0.0

# Advanced/Seldom-used

## PoE [PoE Settings]

PoE(Power over Ethernet) は、イーサネット RJ-45 ポートを通じてデバイスができる機能です。

IEEE 802.3af、IEEE 802.3at 規格対応

①Advanced → ②Seldom-used → ③PoE → ④PoE Settings

⑤[Available Power / Overload Power] を入力します。

⑥ポートの [有効 / 無効] を選択します。

⑦[Save] をクリックして保存します。

The screenshot shows the PoE Settings page. At the top, there are tabs for 'Quick Setting', 'Advanced' (selected), and 'Maintain'. The sidebar on the left has 'Common' and 'Seldom-used' (selected). Under 'Seldom-used', 'PoE Settings' is selected. The main content area is divided into two sections: 'PoE Settings' and 'Port Status and Control'. In the 'PoE Settings' section, 'Total Power' is 360 W. 'Available Power' is 324 W, and 'Overload Power' is 380 W. Two red callout boxes highlight errors: 'Available Power cannot be greater than Overload Power' and 'Overload Power cannot be greater than Total Power'. The 'Port Status and Control' section shows a table of ports 17-24, all with 'Consumed' power of 0 and 'Status' of 'No PD detected'. At the bottom, there are 'Save' and 'Refresh' buttons.

Quick Setting   **Advanced**   Maintain   English   Logout

①

Common   **④ PoE Settings**   Green PoE   Legacy Support   PoE Event Statistics

Seldom-used ②

ACL   Total Power: 360   W

Loop Protection   Available Power: 324   W   **⚠ Available Power cannot be greater than Overload Power**

Security   Overload Power: 380   W   **⚠ Overload Power cannot be greater than Total Power**

IGMP Snooping

QoS

SNMP

DHCP

LLDP

③ PoE

**Port Status and Control**

⑥

Port	Consumed	<input checked="" type="checkbox"/> Enable	PD Class	Status
17	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
18	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
19	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
20	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
21	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
22	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
23	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected
24	0	<input checked="" type="checkbox"/>	-	No PD detected

⑦

Save   Refresh

# Advanced/Seldom-used

## PoE [Green PoE]

①Advanced → ②Seldom-used → ③PoE → ④Green PoE

⑤PoE Off Time : PoE オフ時間の設定

⑥PoE On Time : PoE オン時間の設定

⑦ポートの [有効 / 無効] を選択します。

⑧[Save] をクリックして保存します。

Quick Setting **Advanced** Maintain English Logout

PoE Settings ④ **Green PoE** Legacy Support PoE Event Statistics

PoE Off Time: Monday 18 : 18 : 45 ⑤

PoE On Time: Sunday 18 : 18 : 45 ⑥

⑦  Enable **Port**

<input type="checkbox"/>	17
<input type="checkbox"/>	18
<input type="checkbox"/>	19
<input type="checkbox"/>	20
<input type="checkbox"/>	21
<input type="checkbox"/>	22
<input type="checkbox"/>	23
<input type="checkbox"/>	24

⑧ Save

# Advanced/Seldom-used

## PoE [Legacy Support]

①Advanced → ②Seldom-used → ③PoE → ④Legacy Support

⑤ポートの [有効 / 無効] を選択します。

⑥[Save] をクリックして保存します。

Quick Setting **Advanced** Maintain English Logout

PoE Settings Green PoE **Legacy Support** PoE Event Statistics

The port will provide power compulsorily no matter whether the connected PD device conforms to standard or not after Legacy Support is enabled. Please use it carefully!

Enable	Port
<input type="checkbox"/>	17
<input type="checkbox"/>	18
<input type="checkbox"/>	19
<input type="checkbox"/>	20
<input type="checkbox"/>	21
<input type="checkbox"/>	22
<input type="checkbox"/>	23
<input type="checkbox"/>	24

Save

## PoE [PoE Event Statistics]

①Advanced → ②Seldom-used → ③PoE → ④PoE Event Statistics

⑤イベントの統計を表示します。

Quick Setting **Advanced** Maintain English Logout

PoE Settings Green PoE Legacy Support **PoE Event Statistics**

Port	OverCurrent	LimitCurrent	DC Disconnect	StartUp Failed	Thermal Shutdown
17	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0
24	0	0	0	0	0

# Maintain/Common

## System Reboot [Maintain]

- ①Maintain → ②Common → ③System Reboot → ④Maintain
- ⑤[Reboot] をクリックします。
- ⑥保存していないデータがなければ [Confirm] をクリックして再起動します。
- ⑦約 2 分お待ちいただき、必要な場合は再ログインをします。

The screenshot shows the 'Maintain' menu with 'System Reboot' selected. A 'Reboot' button is visible. A 'Tip' dialog box is displayed, warning that unsaved configuration changes will be lost. Below the dialog, a 'Rebooting...' status message is shown.

① Maintain

② Common

③ System Reboot

④ Maintain

Reboot ⑤

**Tip** X

Any configuration changes that have not been saved are lost when the system reboots. This will reboot device ,Continue?

⑥ Confirm Cancel

⑦ Rebooting..., please wait 2 minutes

## Restore Default [Default]

- ①Maintain → ②Common → ③Restore Default → ④Default
- ⑤[Default] をクリックします。
- ⑥工場出荷時に戻してもよろしければ [OK] をクリックします。
- ⑦VLAN1 IP アドレスを除くすべての設定が工場出荷時になりました。
- ⑧初期パスワード [admin] でログインし、パスワードの再設定が必要です。

The screenshot shows the 'Default' menu with 'Restore Default' selected. A 'Default' button is visible. A 'Tip' dialog box is displayed, asking for confirmation to reset the default configuration.

Quick Setting Advanced Maintain ①

② Common

④ Default

System Reboot

Default ⑤

③ Restore Default

**Tip** X

! Are you sure to reset default config?

⑥ OK Cancel

# Maintain/Common

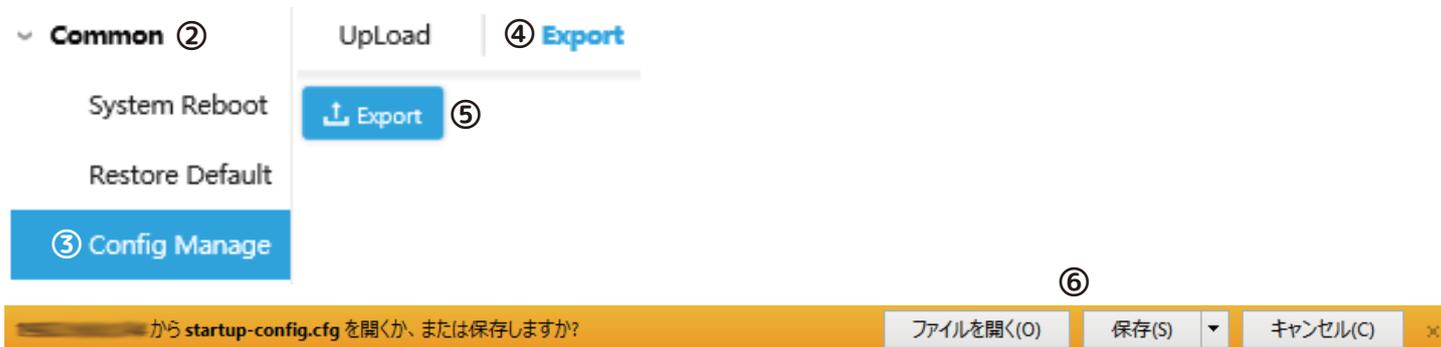
## Config Manage [UpLoad]

- ①Maintain → ②Common → ③Config Manage → ④UpLoad
- ⑤[Browse] をクリックし、アップロードする構成ファイルを選択します。
- ⑥[UpLoad] をクリックします。
- ⑦デバイスを再起動してアップロードを有効にします。



## Config Manage [Export]

- ①Maintain → ②Common → ③Config Manage → ④Export
- ⑤[Export] をクリックします。
- ⑥保存先を決めます。



## Software Update [Upgrade]

- ①Maintain → ②Common → ③Software Update → ④Upgrade
- ⑤[Browse] をクリックし、アップロードする .mif 形式のファイルを選択します。
- ⑥[Upgrade] をクリックします。
- ⑦アップグレード完了後、デバイスは再起動します。



# Maintain/Common

## Mirror [Mirror]

①Maintain → ②Common → ③Mirror → ④Mirror

⑤Global Settings の Mode を [Enabled] にし、ミラーリングモードを有効にします。

⑥送信元ポートに以下の 4 つの方法より選択します。

- ・ Disabled : ポートをミラーの送信元アドレスとして無効にします。
- ・ Both : ポートをミラーの送信元アドレスとして有効にします。
- ・ Tx only : ポートはデータを受信するのではなく、送信データのみをミラーリングします。
- ・ Rx only : ポートはデータを送信するのではなく、受信データのみをミラーリングします。

⑦デバイスを再起動してアップロードを有効にします。

⑧[Destination] ボックスに☑を入れ、ポートを宛先に設定します。

⑨[Save] をクリックして保存します。

② Common

- System Reboot
- Restore Default
- Config Manage
- Software Update
- ③ Mirror**
- Ping

④ Mirror

**Global Settings:**

Mode: Disabled (Disabled) Enabled (⑤)

**Port Configuration:**

Port	Source	Destination
1	Disabled	☑ (⑧)
2	⑥ Disabled	☐
3	Both	☐
4	Tx only	☐
5	Rx only	☐
24	Disabled	☐
25	Disabled	☐
26	Disabled	☐
CPU	Disabled	☐

⑨ Save Refresh

# Maintain/Common

## Ping [Ping]

Ping プロトコルを使用すると、指定された IP アドレスを持つデバイスがアクセスし、ネットワーク接続が失敗するかどうかを確認します。

①Maintain → ②Common → ③Ping → ④Ping

⑤IP アドレスを入力し、[Ping] をクリックします。

⑥[Return] をクリックして戻ります。

The screenshot shows the 'Maintain' menu with 'Quick Setting', 'Advanced', and 'Maintain' tabs. The 'Maintain' tab is selected and numbered ①. Under 'Common' (numbered ②), 'Ping' is selected and numbered ③. The 'Ping' settings are displayed: IP Address (example: 192.168.1.1, numbered ⑤), Ping Length (56), Ping Count (5), and Ping Interval (1). A 'Ping' button (numbered ⑤) is visible at the bottom.



The screenshot shows the 'Ping' results screen. The 'Maintain' tab is selected and numbered ①. Under 'Common', 'Ping' is selected and numbered ③. The 'Ping' settings are displayed: IP Address (example: 192.168.1.1, numbered ⑤), Ping Length (56), Ping Count (5), and Ping Interval (1). A 'Ping' button (numbered ⑤) is visible at the bottom. The results are displayed as follows:

```
例 )
PING server 192.168.1.1, 56 bytes of data.
sendto: Network is unreachable
sendto: Network is unreachable
sendto: Network is unreachable
sendto: Network is unreachable
Sent 0 packets, received 0 OK, 0 bad
```

A 'return' button (numbered ⑥) is visible at the bottom.